

白石市学力向上プロジェクトの取り組み



越河小学校

自己肯定感・自己有用感を高める活動を通して

越河小学校では、児童の自己肯定感や自己有用感を高める活動を重視し、総合的に学力の向上を目指しています。小規模校のため一人一人が活躍する場面が多く、学習発表会では、たくさんのせりふを覚えてやり遂げることで、自分に自信がもて、その後の活動に前向きに取り組めるようになっていきます。縦割り清掃や、集団登校、鼓笛隊の練習では、異学年交流を通して協力することの大切さや思いやりの心を育てています。

また、英語・漢字・算数の各種検定に積極的に取り組んでいます。市の補助もあり、昨年度は全校の7割以上の児童が検定に挑戦しています。検定への挑戦を通して、諦めずやり抜く力を育てています。

さらに本年度は、ご当地ならではの「わくわくするような」素材を集め、総合的な学習の時間のカリキュラムを再編し、ふるさとに学び、ふるさとを愛する児童を育てていきます。



▲学習発表会の発表 群読「言葉の宝箱」



▲鼓笛隊の練習の様子



▲検定に挑戦しています

◎学校管理課 ☎22-1342

白石第二小学校

「夢」を抱いて一歩踏み出す

本年度のスローガンは、「『夢』を抱いて一歩踏み出す」です。授業では、分かる喜びを味わわせ、自信をもって夢に向かわせるように意識した授業づくりを行っています。特に算数では、「進んで考え表現する力」を育てるため、ICT機器を積極的に活用したり、自分の考えを分かりやすく友達に説明したりする活動を重点的に取り組んでいます。授業の始めの方では、これまでに習ったことや基本的な用語、公式について確かめ

る活動を取り入れることで、課題に対して自分の考えをもつことができるようにしています。また、学習したことが生活と結び付いているかを振り返る活動を通し、知識の定着を図っています。

他にも、高学年を中心に、算数や社会、理科などで、専門性を生かした教科担任制授業やTT授業を行うなど、学力を高めさせる取組も行い、「夢」を抱いて一歩踏み出す子どもたちの背中を押す授業づくりに取り組んでいます。



▲ICT機器を活用した授業の様子



▲算数の教科担任と担任2人によるTT授業

くらしのなかの 水道・下水道

下水道マスコットキャラクター「スイスイ」



2カ月に1回、水道と下水道のしくみや事業についてお知らせしています。今回は、下水道の使い方や管理についてお知らせします。

◎上下水道事業所 ☎25-5522

■下水道を正しく使って快適な生活環境を守りましょう

皆さんがトイレや台所から流した水は、下水道管の勾配を利用して自然に流れています。地域により低い所からポンプで汚水をくみ上げて流している場合もあります。流れを妨げる異物などを流してしまうと下水道管が詰まって汚水があふれたり、ポンプが故障したりする原因になるので、次のことに注意しましょう。

野菜くずや油脂類は絶対に流さないで！



▲下水道管の中で固まった油



▲清掃後の正常な下水道管

トイレットペーパー以外の紙やオムツ、おもちゃ、衣類などは絶対に流さないで！

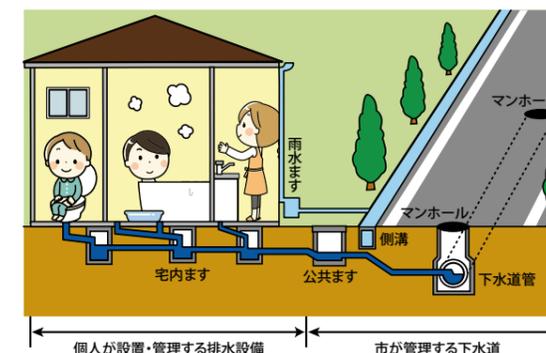


▲ポンプに詰まっていた衣類

■地震による下水道への影響

地震で下水道施設が壊れると、トイレが流せなくなるなどの問題が生じ、公衆衛生や社会活動に大きな影響を及ぼします。地震直後に異常がない場合でも、時間が経過してから流れが悪くなる場合があります。

※排水の流れが悪かったり、敷地内の宅内ますから水があふれたりしている場合は、排水設備事業者へ点検を依頼してください。



■浄化槽をお使いの皆さんへ

本年3月の地震で浄化槽（本体）が破損し、新たに入れ替え工事を行う場合は「浄化槽設置補助金」の対象となります。ご使用に問題がなくても、見えない部分が破損している場合があります。ご契約されている「保守点検業者」にお問い合わせください。